

休日市民の命を守る 医療体制について

代表質問

大田原クラブ

前田 則隆 議員



スポーツの拠点である 美原公園再整備について



質問…今年の年末年始の休日在宅当番医混雑の原因と改善策について、本市の考えを伺います。

答弁…休日在宅当番医制は、那須地区広域行政事務組合と那須郡市医師会との契約に基づき実施しています。混雑の主な原因は昨年12月末からのインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の全国的な大流行によるもので、特にインフルエンザにつ

いては、12月23日から12月29日の1定点医療機関当たりの報告

者数が前年の約3倍の方が罹患した状態であり、栃木県内においても全国同様多くの感染者が発生したところがあります。本市としても、例年がない混雑となったことについては、大きな問題であると考えています。

質問…緊急の場合は、大田原市と大田原市医師会との間で、増

やしてもらえないか伺います。

答弁…来年度の予定については、もう既にローテーションは決まっている状態で困難であると考えています。そこには医師の負担が伴うもので、そちらの公平性も含めまして、今後関係市町及び関係機関課、それと郡市医師会等で協議していきたいと考えています。

質問…那須与一宗隆公ゆかりにふさわしい弓道場とはどのような規模、設備を考えているのか伺います。

答弁…弓道場の規模としましては、競技会や審査会の開催を考慮し、10人立ち程度の施設整備を予定しています。付帯設備としまして、トイレや更衣室、打合せスペースなど必要な設備を配置します。建屋については、

地元産木材を使用した木造建築を予定しており、木のつなぎ方にこだわるなど工夫を凝らした内装にするとともに、維持費にも配慮し、シンプルで効率的かつ迅速なメンテナンス作業が可能な建物にしていきたいと考えています。観覧席の設置については、競技会に参加する選手や関係者が観覧できる弓道場側面への観覧エリアの配置を計画し

ており、チームの待機場場については、簡易テントなどが張れるエリアを公園内に設けていきたいと考えています。今後基本設計から実施設計を進める中で、大田原市弓道連盟など利用団体とも協議し、使い勝手のよい施設になるよう計画を進めていきたいと考えています。